

名教スタッフ版

よめよめグラインプリ

名まえ

都築 良仁

★読んだ本について書いてみよう。

ひ	ひ
日	付
5	10
日	月

ペー	すう
ジ	数
2	5
0	0

①本の題名

英語と日本語で読む 武士道

②本の作者

新渡戸 稲造

③私のおすすめの本を、紹介します。

タイトルに惹かれて、インターネットで購入しました。本が届き、中を開いてみると、見開き左ページに、英語の原文、右ページにその日本語訳という構成。まずは英語でと思い、読み始めたのですが、難しい！！出てくる単語レベルがS級です。辞書を引きながらでないとは全然意味が分からないということで、英語の方は後回し。先に日本語で読んで見ることにしました。しかし、これもまた、難しい！ただの日本語訳ではなく、内容の解説付きのものを読むことをお勧めします。

「武士道」は旧五千円札の肖像で有名な、新渡戸稲造さんの著書です。世界の人々に向けて、日本人の思想にどのようなバックグラウンドがあるかを紹介するために書かれた本です。「武士道」とはもともと、常に死と隣り合わせに生きていた「武士」たちがどのように「生きる(ふるまう)」ことが正しいかを説くものです。しかし、それはやがて、日本人全体の国民的あこがれとなり、日本人全体の道徳的基盤となっていると著者は述べています。

武士道は、たくさんの「徳」から成り立っています。基礎は孔子の教えにあるようです。以下にいくつかを挙げておきます。

「義」…「卑怯なことをするのは恥ずかしい」ということ。

「勇」…正しいことを行うことができる「勇氣」。

「仁」…やさしき、思いやりの心。

「礼」…礼儀正しさ。相手に対する思いやりを態度に出すということ。

「誠」…言ったことを成す。つまり、ウソをつかないということ。

どれもとても大切なことですが、実行するのがとても難しいことだと思います。自分の行動を考えた時に、身が引き締まる思いがします。これらの「徳」を知っていても、それをどう実行するかが大切です。私自身も子供たちと触れ合う中で、一緒にこれらについて考えて、勉強しようと思いました。

英語の原文は、時間をかけて読んでみようと思います。

ぜひ、読んでみてください。